

農福連携サポーター、29企業・団体登録



「ぎふノウフクサポーター」登録証を古田肇知事から受け取る企業・団体の関係者＝県庁

県庁で全国フォーラム

「農福連携全国フォーラム2023 inぎふ」が28日、県庁で開かれ、農業分野での障害者の就労拡大を図る事業者が手掛けるノウフク商品の取引拡大や消費者への認知度向上を積極的に進めていく「ぎふノウフクサポーター」として29の企業・団体が登録された。

フォーラムは県と日本農福連携協

会が主催。登録制度は県が全国に先駆けて創設し、伊藤園や農林中央金庫、日本郵便、イオン、JA全農岐阜など県内外の企業・団体から登録申請があった。登録証授与式では、農福連携全国都道府県ネットワーク会長を務める古田肇知事が代表者6人に登録証を手渡した。古田知事は「岐阜から全国に農福連携という新しいエネルギーを発信し、社会運動として大きく伸ばしていきたい」とあいさつした。登録申請は今後も随時、受け付ける。

他に農福連携の実践団体による事例発表があった。

また「全国農福連携マルシェ inぎふ」が28日、岐阜市薮田南のOK Bぎふ清流アリーナで開幕した。県農業フェスティバルと同時開催で、県内6と県外21の農福連携事業者がブースを構え、ブドウやシイタケ、クリームパン、クラフトビールなどを販売している。29日まで。

(古家政徳)